

第 2 回（仮称）浜田歴史資料館検討会
委員意見要旨《発言順》

No.	内容	
1	質問	<p>中期財政計画では、「（仮称）浜田城歴史資料館整備事業」として 11 億 2,800 万円とあり、それを基準に比較しているが、</p> <p>① この予算は御便殿（浜田城資料館）の整備に一部使われているか。それともそのまま残っているか。</p> <p>② こども美術館の改修費は別途 1 億 500 万円必要とあるが、中長期財政計画に入っているものか、新たに必要になったものか。</p> <p>③ 中期財政計画策定時の状況から今の状況の変化、働き方改革・教育の無償化などで新たに必要になってくる予算が今後出てくるはずだが、予想されていなかった追加予算はどれだけあるか。それを加味しても問題ない予算と考えていいか。</p>
	回答	<p>中期財政計画 18 ページの一番下を参照いただきたい。</p> <p>① ABC 案では御便殿を含めて試算しているが、財政上は別予算として確保している。御便殿の予算 8,200 万円は地域振興基金やふるさと寄附から充てているので一般財源からは出ていないが、11 億 2,800 万円から 8,200 万円引いた残りの金額が、実質の予算と考える。</p> <p>② こども美術館改修などの経費は今のところ財政計画に入れていない。今後、担当課で調整する。7,8 月に 300 万円以上の投資が必要になるものを対象にサマーレビューで聴き取りを行い、秋頃に当初予算を策定する。</p> <p>③ 働き方改革で会計年度任用職員制度が来年 4 月から始まる。臨時職員などにも期末手当を支給することになり、今の人数のままだと支出負担は膨らむが、おおむね年に 2 億円程度の増額が予想される。人事サイドからの声としてはもう少しかかる。今後、働き方改革に関わることで別途増えてくる内容である。無償化について、高校は県立高校だが、保育所・幼稚園無償化は、当面国が費用負担をするが、将来的には地方公共団体も負担をすると予想されるので、精査する必要がある。</p> <p>そのほか予測できていない追加予算として、学校の統廃合による改修工事は、中期財政計画に盛り込んでいないため捻出の努力が必要。それが大きな今後投資的なものになる見通し。</p>
	意見	<p>予算の配分について、優先する事業があるのではないかと、という声は市民から出ているので、検討会の場で、市民に説明できるかどうか議論する必要がある。</p>
2	質問	<p>資料 1 の 2 ページで、ABC 案の数字の下に「御便殿は浜</p>

		田城資料館として改修中なので省略」とある。まだ御便殿を含めて形が決まってない認識だがどういう意味か。議論の最中ではないか。
	回答	御便殿の 539 m ² は省略としているのは、今年 10 月にオープンをめどに工事着手する予定のため。御便殿は具体化しているため、切り離している。
	質問	A 案は「御便殿を含めて」となっている。セットで整備するのに、一方はもう進めているのは変ではないか。
	回答	平成 28 年度当初案の時点では、御便殿を含めて考えていた。昨年、外ノ浦が日本遺産に認定され、開府 400 年を迎えて浜田城山周辺整備を進めるのを機に、別予算として切り離して議会に提案し、スタートさせた。今年の 10 月に開府 400 年の式典に併せて完成させる予定。全体の面積については、太枠内が今回の提案。財政的には今後、御便殿を引いて考えてほしい。
	質問	我々が審議する案に入っているのでは。この資料の計算はおかしいのでは。
	回答	御便殿は昨年 9 月議会で設計費を計上し、今年度の当初予算で建築予算を確保して進めている。御便殿は先に整備するが、A 案で資料館ができた時に渡り廊下でつないで一体的な活用をするため、このような表記をしている。 浜田城資料館では、浜田城・北前船の関係の資料だけを展示する。
	質問	様々な問題をこのような委員会で検討しているが、御便殿の活用はどこで決めたか。
	回答	委員会ではなく、平成 30 年 5 月の外ノ浦の日本遺産認定を受けて、具体的に外ノ浦のことなどを勉強できる施設がないため、北前船や浜田城の歴史に特化した施設を作ろうと議会で決定した。
	回答	今回は新たに歴史資料館を作る時の場所を ABC 案として提案していただいた。御便殿は本検討会では関知するところではない。差し引いて財政や資料館の在り方について検討する。あくまでも A 案は、御便殿と同じ敷地内に建てて、将来的には一体的な活用をするという整備案だが、どの案になっても御便殿は整備する。展示物は外ノ浦の資料など。今回の議論するのはそれ以外の歴史的資料などが対象。
	意見	こちらは一緒に考えるものだと思ってしまう。
3	意見	この委員会の目的は、新たな案を市民が認めて、資料館を建設する運びにすること。2 年前の反対意見に高額であるなどあったが、いずれも当初案とそん色ない。これでは市民に納得してもらえないとは思えない。運営費の中で収入が見込んであるが、利用の試算もあれば知りたい。利益を追求しない施設とはいえ、費用対効果も求められる。

		我々がするのは ABC 案どれにするかという議論ではなく、市民の反対意見を酌んで、市民に納得してもらう案を出すように議論するべきでは。視点が違うと思う。再度出して、再度否決されるのは不細工である。
	質問	視点が違うというのは、いずれの案にしても経費が高額だからか。
	意見	反対意見が出ているので、反対意見者が納得できる案を出す必要がある。
	回答	仮に進めるなら、という仮定で具体的な案を提示した結果が ABC 案。 費用面から C 案に目移りするところだが、建設資金ではなく、永久的にかかる維持管理費がどうかを考える必要がある。
4	質問	運営費について。6 ページの運営費の比較で平成 28 年度試算に比べると令和元年度試算で随分増えているが、2 年ごとなどで漸次増えていくのか。
	回答	人件費の高騰や 10 月の消費税増税などで単価が上がるのはやむを得ない。急激に上がるわけではないが、働き方改革などの関係で今後多少上がっていくことは否定できない。
	回答	平成 28 年度試算では、文化振興課職員を配置する前提で人件費を試算しており、令和元年度試算では、これを取り止めたため上がっている。事務室スペース縮小の影響による。今後、このように急激に上がるというわけではない。
	質問	人数は 1 人しか変わらない。平成 28 年度試算は 8 人、令和元年度試算は 7 人。1 人の違いでこれだけ違うか。
	回答	平成 28 年度当初案では、新しい資料館の中に文化振興課の職員が移って職務を行うことで館長・職員を置かないこととしていた。本来は計上すべきだったが、正職員だから計上をしていなかった。そこを事務室のスペースなどの関係から新たにスタッフを置いて計上したので増額している。 こども美術館は館長・スタッフが兼任なので削減できている。当初案も正確にはもっとコストがかかる。働き方改革の関係で、運営費は今後増えるが、増額幅は大きくない。
5	意見	まだ戸惑っている。まず、博物館が絶対必要か。平成 28 年度当初案は、一般市民の意見があって中止している。改めて検討することになっているが、この会議の中で話していると、博物館を作る方向で進んでいて、ABC 案の中から選ぶような流れになっている。一般市民の意見に対してなんらかの回答が必要。なぜ必要なのかが分かる資料はないか。

		<p>浜田の郷土資料館に行った。こういう資料があるのかと思ったが、2階は展示がない。</p> <p>資料館整備は、良いことだと思うが、作らないといけない理由を一般市民にわかってもらえないと、また同じ結果になる。</p>
	回答	<p>1ページに「当初計画に対する意見」として意見を列記しているが、ぜひ作ってほしいという賛成意見もたくさんいただいている。浜田自治区以外の資料館をどうするか等のアンケートの結果、半分くらいは作るべきという意見、残り半分の意見が、掲載しているような反対や懸念の声をいただいた。市としても財政面等での課題もあり、見送った。</p> <p>今回の説明では当初案への懸念意見を盛り込んで既存の施設を活用したものや、中期財政計画の予算の中で収まる案を提案している。管理費も財政計画に盛り込んでいる。資料館の老朽化や、元々博物館構想があったことなどから可能な範囲内でできるものを提案している。</p> <p>今回の提案は、当初案の懸念意見に対する回答ということで、財政面も併せて説明した。作らないという意見があっても良い。</p>
6	質問	<p>① この度提案された資料館の基本方針は、平成28年度当初案のとおりか。</p> <p>② いまは(仮称)浜田歴史資料館だが、それ以外の名称になる可能性もあるか。</p>
	回答	<p>① 整備目的は当初案と変わっていない。歴史資料の伝承・保存・ふるさと教育の拠点、市民と観光客の交流人口増を図る総合的な博物館と考えている。</p> <p>② 名称は仮称であり、変更の可能性は大いにある。</p>
	質問	<p>当初案の目的に歴史と文化の伝承・保存、交流拠点、集客施設、とりわけ郷土愛を育むための教育施設とある。重要視したいのはどれか。一番何がしたいか。</p>
	回答	<p>一つに絞ることは難しいが、次の二つに絞ることができる。</p> <p>① 学術的な歴史文化資料の保存・継承・研究</p> <p>② ふるさと郷土愛の拠点にしたい。地元に対する誇り・愛着を養う。</p>
7	意見	<p>一市民の考えとしては、そもそもこども美術館が必要か。全部改修して資料館にすべきではないか。資料館整備は、事業の優先順位で一番重要か。喫緊は校舎の建て直しなど子どもの安全を考えると重要ではないかと思っていた。</p> <p>この検討会で、資料を保存ではなく「管理」できる場所は必要と考えた。子供に啓発する施設はあってもいい。浜田市郷土資料館は老朽化も進み、湿度管理なども不安</p>

		なので新しいハコモノが必要だとは思う。ABC 案どれも良いとは思うが、C 案は、そもそもこども美術館がいるのかと思う。ただあの場所は日が当たりすぎる。
9	意見	<p>他の資料館が老朽化していることを考えれば、歴史資料館の整備は必要と考える。学校の状況を知っているから、財政的には C 案と思うが、何のために作るかを考えたときにはどれも中途半端になる。子どもが行くことを考えると A 案が良い。A 案にした場合、整備費が高額になるが、どうにかやりくりできないか。</p> <p>浜田市内の社会科教員には検討内容について伝えてある。</p>
10	意見	子どもが足を運べるようなところになれば良い。
11	質問	6 ページの person 費について、役職ごとの内訳を確認したい。また今後、資料をデジタルアーカイブする予定があるか。
12	質問	維持管理に不安がある。保存・継承・調査を続けていくに当たり、person 費を減らすと運営が回るか心配である。目的を達成する上でどうか。
13	質問	親目線であれば、資料館を整備したところで、市内の学校が子どもに授業として何かしてくれるか疑問である。そういうことを学校は考えているか。今はそういうことをしていない。整備するとして、A 案では小中学校が行くのにバスが施設まで進入できるか。B 案の図書館は駐車場を工事して車が入るスペースはどうか。
14	意見	ABC 案について、どれが良いか結論は出ないが、整備することに反対する理由はない。御便殿と資料の展示内容が分かれる可能性が高いが、来館者からしたらどこの資料館に何があるかわかりにくい。使い勝手が悪いのではないかと思う。
15	意見	ハコモノは必要だと思う。歴史や文化的資料の保存を主にやるなら、古い建物では難しい。反対意見をつぶすと C 案が有望で、事務局サイドも C 案で検討していると思う。前回より進んだ話ができていると思う。
16	意見	<p>今日の検討会では ABC 案と、作らなくても良いというものも一つの案ということだった。</p> <p>地域住民からは、資料館を新たに作っても誰が行くかという声や、資料の価値などの中身が分からないという声もある。絶対に必要という気持ちがまだ沸かない。整備目的や日本遺産のことも分かるが、どういう日程でどこまで議論進めるか分からない。</p> <p>また、金城が 2 館存続すると今日示された運営費と変わると思うがどう変わるか。市民の税金負担はどう変わるか知りたい。</p>

17	意見	平成 28 年の検討会のおときから、賛成に手を挙げている。子どもたちに形あるものを形あるまま 1 つのハコに残すことが大切。年 1 回学校に民具を持ち寄り子どもたちに勉強してもらう機会があるが、子どもたちがそういう場で勉強していくことが大切。ABC 案それぞれメリット・デメリットがあるが、少しずつ前へ進むべき。
18	意見	旭自治区の地域協議会としては反対である。
19	意見	必ず作ってほしい。